

- 問1 西アジアを流れるチグリス川とユーフラテス川の流域で栄えたメソポタミア文明において、粘土で作られた板に、尖った棒のようなもので刻み込まれた文字を何といいますか。 (2024年 佐賀県公立入試 類似)
1. フェニキア文字      2. くさび形文字      3. 象形文字 (ヒエログリフ)      4. 甲骨文字
- 問2 インド北西部の遺跡から、建物や水路が計画的に配置された都市の跡が発見されている文明について、その文化的な特徴を説明したものとして正しいものはどれですか。 (2024年 滋賀県公立入試 類似)
1. 亀の甲羅や動物の骨に、漢字の原型となる甲骨文字が刻まれた。      2. ナイル川の氾濫を予測するために太陽暦が作られ、象形文字が使用された。      3. 象牙や石で作られた印章に文字が刻まれているが、現在も解読されていない。      4. くさび形文字を粘土板に刻み、太陰暦や六十進法が考案された。
- 問3 紀元前5世紀頃の世界各地の統治形態を比較したとき、当時のギリシャにおける状況を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2022年 大分県公立入試 類似)
1. 有力な王や皇帝が広大な領土を一括して支配する中央集権的な国家が形成されていた。      2. ピラミッドを建設した王のように、神の化身としての絶対的な権力を持つ個人による統治が主流であった。      3. 万里の長城などの大規模な土木作業を国家の総力で指揮する、強力な皇帝による統治が行われていた。      4. ポリスと呼ばれる小規模な都市国家が数多く成立し、それぞれが独立して統治を行っていた。
- 問4 ティグリス川とユーフラテス川の流域で栄えたメソポタミア文明において、粘土板に刻んで使用された文字と、月の満ち欠けに基づき作られた暦の組み合わせとして正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2021年 徳島県公立入試 類似)
1. 象形文字 (ヒエログリフ) と太陽暦      2. くさび形文字と太陰暦      3. 甲骨文字と太陰太陽暦      4. アルファベットと太陽暦
- 問5 古代中国の歴史に関する記述のうち、当時の政治の仕組みと文字の関わりについて説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2025年 大阪府公立入試 類似)
1. 周の時代には、青銅器に刻まれた文字が占いの道具として一般庶民の間で普及した。      2. 秦の始皇帝は、各地でバラバラだった甲骨文字を統一し、中央集権体制を整えた。      3. 殷王朝の王は占いの結果を亀の甲羅などに刻ませ、その神意に基づいて政治を行った。      4. 漢の時代に紙が発明されたことで、それまで骨に刻まれていた文字はすべて廃止された。
- 問6 現在のオーストラリアの国旗は、青地を基調とし、左上にイギリスの国旗である「ユニオンジャック」が配置されたデザインになっています。このデザインが現代まで維持されている歴史的な理由を説明したものとして、最も適切なものを選択してください。 (2016年 山口県公立入試 類似)
1. オーストラリアの全人口がイギリスからの移民のみで構成されているため      2. イギリスから最新の工業技術を導入して近代化を達成した記念とするため      3. イギリスと軍事的な合体を行い、一つの国家を形成していることを示すため      4. かつてイギリスの植民地であったという歴史的なつながりを象徴しているため
- 問7 紀元前1600年ごろに成立した中国の殷の都の跡からは、亀の甲羅や動物の骨に鋭い線で刻まれた原始的な文字が数多く出土しています。この文字が使用された主な目的として正しいものはどれですか。 (2024年 長崎県公立入試 類似)
1. 周辺諸国との交易を行う際の品目や数量を管理するための事務処理      2. 支配者の功績を後世に伝えるために青銅器の表面に鋳込むための装飾      3. 政治や軍事などの重要な事柄を決定するための占いの記録      4. 民衆に対して国家の法律や道徳を広く周知するための布告文
- 問8 1949年、群馬県の岩宿遺跡において関東ローム層の中から打製石器が発見されたことにより、日本列島に存在したことが初めて証明された時代を何というか。 (2021年 和歌山県公立入試 類似)
1. 縄文時代      2. 弥生時代      3. 新石器時代      4. 旧石器時代
- 問9 古代エジプトでは、ナイル川の定期的な氾濫の時期を予測する必要から天文観測が発達しました。この文明で生み出された、1年を365日とする暦と、王の記録や寺院の壁画などに刻まれた象形文字の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2023年 熊本県公立入試 類似)
1. 太陰暦と神聖文字 (ヒエログリフ)      2. 太陽暦と神聖文字 (ヒエログリフ)      3. 太陰暦と楔形文字      4. 太陽暦と甲骨文字
- 問10 古代ギリシャの代表的なポリスであるアテネにおいて、成人男子の市民全員が参加し、多数決によって国の重要な方針を決定した最高議決機関を何と呼びますか。 (2025年 山口県公立入試 類似)
1. 三部会      2. 民会      3. 帝国議会      4. 元老院
- 問11 古代中国の秦の時代に整備された「万里の長城」に関連する記述として、歴史的な背景を正しく説明しているものはどれですか。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)
1. 日本から派遣された遣隋使や遣唐使が、最先端の都の造りを学ぶための手本となった。      2. シルクロードを通じた西方との貿易を独占するために、関所としてののみ活用された。      3. 農業生産を高めるために、黄河の氾濫を抑える目的で建設された。      4. 匈奴などの北方遊牧民族の侵入を防ぐために、大規模な防衛線として築かれた。
- 問12 古代文明の遺跡や遺物に関する説明として、インダス文明の事例に該当するものを次の中から選びなさい。 (2025年 愛知県公立入試 類似)
1. ピラミッドが建設され、王の遺体はミイラとして保存されていた。      2. 秦の始皇帝の墓を守るため、実物大の兵士や馬をかたどった大量の土人形が埋められている。      3. 牛などの動物が描かれた石板に、未解読の独自の文字が刻まれている。      4. ジググラトと呼ばれる巨大な聖塔が建設され、神を祀る儀式が行われていた。
- 問13 古代文明における文字の記録方法と、その文明が成立した地理的条件の組み合わせとして、メソポタミア文明について正しく述べたものはどれですか。 (2024年 佐賀県公立入試 類似)
1. 川の周辺で採れる石に、主に商業活動の記録として、動物や人物の姿を彫り込んだ。      2. 占いの道具として、亀の甲羅や牛の骨を使い、そこに複雑な線を組み合わせることで刻んだ。      3. 河畔に生ずるパピルスという植物から紙のようなものを作り、そこに鳥や蛇などを模した文字を書いた。      4. 大河からもたらされる良質な粘土を板状にし、鋭い線の組み合わせによる文字を刻んだ。

## 答え合わせ・解説

|     |                                                    |                                                                                                                                                                                        |
|-----|----------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 問1  | 答え 2<br>くさび形文字                                     | 現在のイラク付近にあたるチグリス川・ユーフラテス川流域では、紀元前3000年ごろからメソポタミア文明が発展しました。この地域では河川から得られる粘土が豊富であったため、乾燥させる前の粘土板に、葦（あし）の茎などを押し当てて鋭い線を組み合わせた「くさび形文字」を刻んで記録を残しました。エジプト文明の象形文字や中国の甲骨文字と並び、古代文明を象徴する文字の一つです。 |
| 問2  | 答え 3<br>象牙や石で作られた印章に文字が刻まれているが、現在も解読されていない。        | インダス文明では、独自のインダス文字が使用されていましたが、他の文明の文字との比較研究が進んでいないため、未だに解読されていません。選択肢にある他の特徴は、エジプト、メソポタミア、中国の各文明のものです。                                                                                 |
| 問3  | 答え 4<br>ポリスと呼ばれる小規模な都市国家が数多く成立し、それぞれが独立して統治を行っていた。 | 紀元前5世紀頃のギリシャは、エジプトや後に登場する秦・ローマ帝国のような大規模な統一国家ではなく、「ポリス」と呼ばれる自立した都市国家が集まって構成されていました。アテナやスパルタといった各ポリスは独自の統治を行っており、特にアテナでは市民による民主政が発達するなど、広域を支配する君主制とは異なる政治文化を持っていました。                     |
| 問4  | 答え 2<br>くさび形文字と太陰暦                                 | 現在のイラク付近を流れるティグリス川・ユーフラテス川の流域では、紀元前3000年ごろからメソポタミア文明が発達しました。この文明では、葦の茎などを削ったペンで粘土板に「くさび形文字」を刻んだほか、月の満ち欠けの周期を基準とした「太陰暦」が用いられました。また、円を360度としたり、時間を60分・60秒で区切ったりする「六十進法」が考案されたことも大きな特徴です。 |
| 問5  | 答え 3<br>殷王朝の王は占いの結果を亀の甲羅などに刻ませ、その神意に基づいて政治を行った。    | 古代の殷王朝では、王は宗教的な権威を背景に政治を行う「神権政治」を展開していました。王が占いによって神の意思を確認し、その内容を記録したものが甲骨文字です。これは単なる記録媒体ではなく、王の支配の正当性を示す重要な役割を担っていました。後に秦の始皇帝が統一したのは文字の書体（小篆など）であり、甲骨文字そのものではありません。                    |
| 問6  | 答え 4<br>かつてイギリスの植民地であったという歴史的なつながりを象徴しているため        | オーストラリアの国旗に描かれたユニオンジャックは、イギリスの植民地として開拓が始まった歴史を反映しています。1901年に連邦として独立した後も、イギリスを盟主とするイギリス連邦（コモンウェルス）の一員としてのアイデンティティを保つために、このデザインが採用され続けています。                                              |
| 問7  | 答え 3<br>政治や軍事などの重要な事柄を決定するための占いの記録                 | 殷（商）の時代、王は神意を問う「占い」によって、戦争の成否や収穫の見通しなどの国政を決定していました。亀の甲羅や牛の肩甲骨に熱を加え、生じたひび割れの形によって吉凶を判断し、その結果を刻みつけたものが甲骨文字です。これは現在私たちが使用している漢字の直接の祖先にあたります。                                              |
| 問8  | 答え 4<br>旧石器時代                                      | かつて日本には土器の使用以前の文化は存在しないと考えられていましたが、相沢忠洋による岩宿遺跡での発見によって、土器を使用する前の「旧石器時代」の存在が明らかになりました。この時代の石器は、石を打ち欠いて作った打製石器が中心です。                                                                     |
| 問9  | 答え 2<br>太陽暦と神聖文字（ヒエログリフ）                           | ナイル川の氾濫はエジプトの農業に不可欠であり、その時期を正確に知るために太陽の動きを基にした太陽暦が作られました。この暦は後にローマで採用され、現在の暦の基礎となりました。また、ピラミッドや神殿の壁面に刻まれた文字は、象形文字の一種である神聖文字（ヒエログリフ）と呼ばれます。選択肢にある太陰暦や楔形文字はメソポタミア文明、甲骨文字は中国文明の特徴です。      |
| 問10 | 答え 2<br>民会                                         | アテナでは、王や一部の貴族ではなく、市民が自ら政治を行う「民主政」が発達しました。その中心的な役割を担ったのが「民会」です。市民はアゴラ（広場）などに集まり、対話や議論を通じて戦争の開始や法律の制定といった重要な決断を下しており、これは現代の議会政治のルーツの一つとされています。                                           |
| 問11 | 答え 4<br>匈奴などの北方遊牧民族の侵入を防ぐために、大規模な防衛線として築かれた。       | 万里の長城は、秦の始皇帝が北方の遊牧民族である匈奴（きょうど）などの侵入を阻止するために、それまで各国が築いていた壁を修復・連結して大規模な防衛システムとしたものです。この巨大な建造物は、その後の王朝でも修復や拡大が繰り返され、中国の北方を守る重要な境界線となりました。都のモデルとなったのは長安などの「都城」であり、万里の長城とは役割が異なります。        |
| 問12 | 答え 3<br>牛などの動物が描かれた石板に、未解読の独自の文字が刻まれている。           | インダス文明の大きな特徴の一つは、インダス文字が刻まれた印章の存在です。これらは交易の際の所有権を示すために使われたと考えられており、牛などの動物の絵が併記されていることが多いのが特徴です。ジグuratはメソポタミア文明、兵馬俑（兵士の土人形）は中国の秦代、ピラミッドはエジプト文明に関連する遺構です。                                |
| 問13 | 答え 4<br>大河からもたらされる良質な粘土を板状にし、鋭い線の組み合わせによる文字を刻んだ。   | メソポタミア文明が誕生した地域は、チグリス川・ユーフラテス川の氾濫によって堆積した肥沃な土壌が特徴です。石材や紙の原料が手に入りにくかった一方で、豊富に存在する泥（粘土）を記録媒体として活用する知恵が生まれました。この粘土板にくさび状の跡をつけることで、天体の観測記録やハンムラビ法典などの法規、商業取引の記録などが後世に残されることとなりました。         |